



¿QUÉ TAL?



2024 年 12 月 1 日 Versión5

ニカラグア共和国 (首都マナグア)

人口 650 万人

面積 九州と北海道くらいの面積

気温 平均 28℃

平均年収 40~100 万(都市)

国民性 とても明るく親切



レオン大聖堂 世界遺産

ニカラグアでの JICA ボランティア活動報告

ニカラグアでの生活も 1 年半を迎えます。今回は、これまでのニカラグアでの JICA 活動について一部ですが報告をいたします。

«2023 年 8 月 21 日 成田からトランジットでヒューストンへ »

成田空港から 12 時間でヒューストンへ到着です。機内食も楽しみの 1 つです。ヒューストンからは 3 時間 20 分でニカラグアのマナグアに到着します。

ヒューストン宿泊先への交通手段が分からず、何とか同期隊員の Uber (タクシーアプリ) を使って無事ホテルへ！ 夢を膨らませ、いよいよ成田出発！

ヒューストンで乗り換えです。



《2023 年 8 月 22 日ニカラグアの首都 マナグア初上陸》

8 月は雨季の季節で、ニカラグアでは気温が 30 度あってもこの時期は Invierno(冬)と言います。

夕方になるとスコールの雨が一時的に激しく降ります。

首都は思っていた以上に都会で、通勤ラッシュで車が毎日渋滞しており途上国を感じません。

ニカラグア JICA 事務所も近代的な高層ビルの 5F にあります。

JICA オリエンテーションでは、安全対策を厳しく説明され、夜の外出禁止、一人歩き注意、危険地域の立ち入り禁止、歩きスマホの禁止、指定タクシーのみの移動利用、狂犬病、デング熱・マラリア等、当初は心配が絶えない状態でしたが、慣れれば普通の生活ができます。。



素敵なニカラグア JICA 事務所です。

《2023 年 8 月 24 日から 1 か月間の語学訓練の為、San Marcos へ》

首都マナグアから 30 km ほど南に離れた静かな町にホームステイをしながら語学訓練を行いました。

初めてのニカラグアでの生活を体験し、時差ボケによる睡眠不足も克服しながら料理や生活習慣に慣れていきます。首都とは違いとても治安のいい街で、人もとても親切な人ばかりでした。

ホストファミリー



語学訓練では、現地の方が講師を行う為日本語が一切使われません。隊員 1 人に対し講師 1 人による徹底したスペイン語の授業が行われます。

毎週末の確認テストや宿題、週末のプレゼンテーション、赴任先関連施設の訪問や、近所の子供たちへの日本文化紹介など、かなり盛り沢山の語学訓練が組まれています。

しかし、今に思えば、それらがその後の活動にとっても為になったと思います。

プレゼンテーションの様子



語学訓練修了書授与



語学訓練講師



子供たちへの日本紹介



《2023 年 9 月 25 日 赴任先 MEFCCA へ》

MEFCCA(家族・コミュニティー・協同組合省)という、中小零細企業支援を行う国家機関本部に配属されました。カウンターパートは女性です。ニカラグアでは女性の社会進出が進んでおり、大臣や管理者の多くが女性で占められています。初出勤日には、歓迎の朝食会が催され盛大な歓迎を受けました。

仕事始まりには、ニカラグアの歴史を学ぶ勉強会が行われる時期があるくらい普段からニカラグアの歴史を大事にして、ニカラグアをとっても愛していることが伝わってきます。



MEFCCA 本部



カウンターパート(世話人)の Tania さん



朝の勉強会風景



歓迎の朝食会

MEFCCA 関連施設の視察や、展示会への参加、K A I Z E N 活動報告会、起業家研修会等 M E F C C A が関係する仕事を見て回り、その中で自分の感じたことを毎回レポートで提出しました。





《2023 年 11 月 2 日 赴任 3 か月 第 1 号報告書提出》

この時期になっても、日常生活や職場ではスペイン語は殆ど理解することができず、ただ同僚と一緒に見て回っていることしかできていませんでした。

ただ、ニカラグアに来たばかりで、日本とニカラグアの違いには気づくことも多く、日本にあって便利なものでニカラグアにないものについて忘れないようにメモを取っていました。

ニカラグアの代表的な街、レオン・マサヤ・グラナダ・ボアコ・マタガルパ・フィガルパ・エステリ等生産者の現場を訪問しました。家内工業の小規模生産者が多く、生産性が低く成長が見込めないことが問題だが、生産者のほとんどは幸せそうであることが感じられた。





ピニャータと呼ばれる餡の入った人形を棒でたたいて壊し、餡を奪い合うセレモニーが子供向け行事として行われます。MEFCCA では地域の子供たちを支援するためのボランティアも行っていきます。



2 月 11 日、在ニカラグア日本国大使公邸で行われた、天皇誕生日レセプションに JICA 海外協力隊も招待され、久しぶりの日本料理を堪能しました。隊員有志参加によるソーラン節踊りも披露し多くの来賓の方に楽しんで頂きました。



「2024 年 2 月 20 日 赴任 6 か月 活動計画策定会議」

赴任 6 か月後には、自分と配属機関・MEFCCA 及び JICA 事務所の 3 者を交えて活動計画策定会議が行われ、これまでの 6 か月の活動報告と、今後 1 年半の活動計画の発表を行い情報の共有を図ります。



日本で開発された改善活動が JICA ニカラグア事務所の事業により普及され、多くの企業で取り組まれています。

特に 5S(躰・整理・整頓・清掃・清潔)を重点に具体的に取り組みがなされ生産性向上をめざしています。

K A I Z E N N活動報告会が JICA、MEFCCA も参加し、国立大学 U N I で行われました。



価格表示を行う指導をおこないました。



研修会の様子



日本公園で行われたイベントで、箸の使い方を紹介



2023 年 4 次隊の隊員の赴任式で先輩隊員として、挨拶をさせていただきました。



5 月 11 日 フランスで行われたオリンピックの関連事業として、在ニカラグア フランス大使館主催によるフットサルの国際親善大会があり、日本大使館メンバーに参加させて頂き試合を行ないました。結果は素人集団にもかかわらず中南米・ヨーロッパ等 15 か国中 4 位と健闘しました。



9 月 13 日 MEFCCA 主催によるニカラグア伝統衣装 HUIPIL(ウイピル)の全国大会がマタガルパ市であり、美しいニカラグアの衣装とニカラグア女性を見ることができニカラグアのすばらしさを堪能しました。



9 月 18 日 2024 年 1 次隊 3 人の歓迎会を JICA スタッフと大使館職員にも参加を頂き行いました。



現在ニカラグア隊員は 17 名です。

男性 7 名 女性 10 名

12 月中旬には、2024 年 2 次隊員 5 名が赴任予定！

隊員総会と歓迎会を予定してます。

2024 年 10 月 5 日 ニカラグアの国際展示場オロフパルメで行われたアニメフェスティバルに参加し、日本文具メーカーのブースに JICA ニカラグア事務所と参加し、書道と折り紙を紹介しました。

会場には、沢山のアニメ商品が展示販売されており、日本のアニメもたくさん紹介されていました。



2024 年 10 月 6 日 マナグア市にあるバレーインターナショナルスクールにて、世界各国をめぐるフェアの日本ブースに JICA 事務所と参加し、書道と折り紙を子供たちに紹介しました。



《2024 年 10 月 15 日中間報告》

活動期間の半分を終えて、これまでの活動の成果を確認し、今後の活動の方向性を配属先及び JICA ニカラグア事務所と確認する。この日を迎えて、これまでの日にちを積み重ねていく日々から、帰国までのカウントダウンを考える思考へと変わったことを意識しました。



現在ニカラグアでは、現状の商品を単に多く販売することがビジネスと考えられており、消費者の満足向上や自社企業の優位性を強化するなどの競争意識が乏しく、具体的な経営目標もありません。そのため現場の改善がほとんど進んでいないため、まずは企業家の意識改革から始め改善を進めています。